９　外国語

# 指導と評価の年間計画（シラバス）

| 教科 | 科目 | 単位数 | 指導学年 | 教材名・副教材名 |
|---|---|---|---|---|
| 外国語 | コミュニケーション英語Ⅱ | ２ | 第２学年 | 大修館<br>「Compass English CommunicationⅡ」 |

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばします。

・特に、「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の４技能について学年末までに次のことができるようになることを目指します。

□　授業における英語での問いかけを聞いて、その概要や要点を理解することができる。

□　聞き手に伝わるように、教科書を音読、暗唱することができる。

□　教科書で学んだ内容や自分の知識・経験に基づき、英語で話し合ったり意見をまとめたりすることができる。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第２学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」（２単位）及び「英語講読Ａ」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

| 話すこと | | 書くこと | | 聞くこと | | 読むこと | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 |
| ◆前もって準備した上で、日常的な事柄について基本的な語や表現を使って、複数の文で描写することができる。<br>◆◇天候、時間、物の値段など、日常的に必要な事柄について、決まった表現や形式を用いて尋ねたり、答えたりすることができる。 | コミュ英Ⅱ<br>ｲﾝﾀﾋﾞｭｰﾃｽﾄ<br>ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ<br>英語講読Ａ<br>ｲﾝﾀﾋﾞｭｰﾃｽﾄ<br>ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ | ◆簡単な語や基礎的な表現を用いて、身近なこと（好きなもの嫌いなもの、学校生活など）について複数の文を書くことができる。 | コミュ英Ⅱ<br>ライティングテスト<br>定期考査<br>小テスト<br>英語講読Ａ<br>ライティングテスト<br>定期考査<br>小テスト | ◇◆ゆっくりはっきりと発話される基本的な英文を１文聞き取ったあと、リピートすることができる。<br>◇ゆっくりはっきりと話されれば、自分自身や家族、学校など身の回りのことについて聞き取ることができる。 | コミュ英Ⅱ<br>リスニングテスト<br>定期考査<br>英語講読Ａ<br>リスニングテスト<br>定期考査 | ◇◆50 語程度の英文を後戻りすることなく一定時間内に黙読して要点を理解したのち、適切なポーズをともない音読することができる。<br>◇簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や伝記などを理解することができる。 | コミュ英Ⅱ<br>リーディングテスト<br>音読テスト<br>定期考査<br>英語講読Ａ<br>リーディングテスト<br>音読テスト<br>定期考査 |

## 3 学習評価(評価の観点と実施方法)

| 観点 | コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | 外国語表現の能力 | 外国語理解の能力 | 言語や文化についての知識理解 |
|---|---|---|---|---|
| 実施方法 | コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。 | CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。 | CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。 | 英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。<br>学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | | |

## 4 学習の活動

| 単元(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| Lesson 1 Words to Live by<br>( 16 時間) | JK・ﾛｰﾘﾝｸﾞさん、白鵬さん、ネルソン・マンデラさんの名言に込められた、人生を生きる上での貴重なメッセージを読む。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・積極的な態度でペアやグループでの言語活動に参加する。<br>・聞き手に伝わるように本文を音読することができる。 | ・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。 | ・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。 | ・ペアでの言語活動を観察する。<br>・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。<br>・音読テスト |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・尊敬する人について質問したり質問に答えたリする。 | ・各セクションの内容を口頭で要約する。 | ・人物についての説明を読んで、その内容を口頭で要約することができる。 | ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・人物に関する説明文を読んだり、聞いたりして、概要を理解する。 | ・Summary Chart を利用して、パートごとに概要を把握する。 | ・人物に関する説明文を読んだり、聞いたりして、概要を理解することができる。 | ・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・現在完了（継続）、関係詞を含む形容詞節による後置修飾の仕方を理解している | ・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 | ・現在完了（継続）、関係詞を含む形容詞節による後置修飾の仕方を理解している | ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |

| 単元(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| Lesson 2 Takuya's Adventure In Canada<br>( 16 時間) | カナダ、バンクーバでホームステイを体験した高校２年生の卓也が、多文化社会や異文化コミュニケーションについて何を考え、何を学んだかについて読む。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・積極的な態度でペアやグループでの言語活動に参加する。<br>・聞き手に伝わるように本文を音読することができる。 | ・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。 | ・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。 | ・ペアでの言語活動を観察する。<br>・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。<br>・音読テスト |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・与えられたテーマについて、意見を交換する。 | ・ワークシートを用いて、例示する表現を用いて自分の意見を書く。 | ・与えられたテーマについて、意見を交換することができる。 | ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・体験に基づく説明文を読んだり聞いたりして、体験から何を学ぶことができるか | ・パートごとに、関連した画像などを見ながら、主人公の体験について読み、イメージと | ・体験に基づく説明文を読んだり聞いたりして、体験から何を学ぶことができ | ・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができている |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | を意識しながら概要を捉える。 | ともに、その内容を理解する。 | るかを意識しながら概要を捉えることができる。 | かを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・仮定法過去の基本的用法を理解し、正しく使うことができる。<br>・SVO(O=whether/if節）および不定詞の否定(Try not to…など)の使い方を理解している。<br>・基本的な原形不定詞(知覚動詞)の使い方を理解する。 | ・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 | ・仮定法過去の基本的用法を理解し、正しく使うことができる。<br>・SVO(O=whether/if節）および不定詞の否定(Try not to…など)の使い方を理解している。<br>・基本的な原形不定詞(知覚動詞)の使い方を理解し、正しく使うことができる。 | ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |

| 単元<br>(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| Lesson 3<br>Cooking with the Sun<br><br>(16 時間) | 太陽の光だけで調理することができる「ソーラークッカー」の仕組みや使い方、またそれが自然環境や開発途上国の人々の生活にどのような恩恵を与えるかについて読む。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・積極的な態度でペアやグループでの言語活動に参加する。<br>・聞き手に伝わるように本文を音読することができる。 | ・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。 | ・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。 | ・ペアでの言語活動を観察する。<br>・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。<br>・音読テスト |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・器具の使い方について簡単な英語で説明する。 | ・ワークシートを利用して、器具の使い方を簡単な英語で書く。 | ・器具の使い方について簡単な英語で説明することができる。 | ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・科学や環境に関する説明文を読んだり聞いたりして、図や写真を参考にしながら概要を理解する。 | ・パートごとに、本文の音声を聞き、ワークシートにメモする。 | ・科学や環境に関する説明文を読んだり聞いたりして、図や写真を参考にしながら概要を理解することができる。 | ・定期テストにおいて、内容理解ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・比較級の強調、関係代名詞の継続用法、未来進行形の使い方。<br>・SV(知覚動詞)O +現在分詞(-ing) の過去完了の使い方を理解している。 | ・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 | ・比較級の強調、関係代名詞の継続用法、未来進行形の使い方、SV(知覚動詞)O +現在分詞(-ing) の過去完了の使い方を理解している。 | ・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する |

| 単元<br>(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| Lesson 4<br>Mandy Loves Japanese Food<br><br>(16 時間) | 日本でホームステイ体験をしたオーストラリアの高校生マンディが、日本の食文化について学んだことや感じたことを記したレポートを読む。」 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・積極的な態度でペアやグループでの言語活動に参加する。<br>・聞き手に伝わるように本文を音読することができる。 | ・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。 | ・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。 | ・ペアでの言語活動を観察する。<br>・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。<br>・音読テスト |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | ・日本の食べ物について簡単な英語で紹介する。 | ・水問題について、データや数値などの情報を再話し、自身の考えなどを、グループで互いに発表しあう。 | ・この単元で学んだ語句や表現を用いて、水問題についての情報や考えなどを、聞き手に伝わるように話すことができる。 | ・グループでの言語活動を観察する。<br>・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・異文化体験についてのエッセイを読んだり聞いたりして、筆者の気持ちや気づきを読み取る。 | ・つながりを示す語やフレーズをたよりに、論理の展開を読み取る。 | ・つながりを示す語やフレーズに注意して文章を読み、論理がどのように展開しているかを把握することができる。 | ・定期考査の筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・前置詞+関係代名詞、過去分詞の分詞構文（付帯状況）、with(付帯状況)の使い方。<br>・過去完了の使い方を理解している。 | ・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 | ・前置詞+関係代名詞、過去分詞の分詞構文（付帯状況）、with(付帯状況)の使い方、過去完了の使い方を理解している。 | ・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する |

| 単元<br>(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| Lesson 5<br>Table for Two<br><br>( 16 時間) | ニューヨークのレストランで、たまたま相席することになったデボラとジョセフの出会いと、その結末に至る紆余曲折についての物語を読む。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・積極的な態度でペアやグループでの言語活動に参加する。<br>・聞き手に伝わるように本文を音読することができる。 | ・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。 | ・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。 | ・ペアでの言語活動を観察する。<br>・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。<br>・音読テスト |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・電話で待ち合わせ時間と場所を決めることができる。 | ・ペアを組んで、電話で待ち合わせ時間と場所を決める会話をしてみる。 | ・この単元で学んだ語句や表現を用いて、電話で待ち合わせ時間と場所を決めることができる。 | ・グループでの言語活動を観察する。<br>・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・出会いをテーマにした物語を読んだり聞いたりして、ストーリーの流れや登場人物の感情を理解する | ・関連した画像などを見ながら、近現代の歴史について読み、イメージとともに、その内容を理解する。 | ・出会いをテーマにした物語を読んだり聞いたりして、ストーリーの流れや登場人物の感情を理解することができる。 | ・定期テストにおいて、内容理解ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・SVOO(O=if 節)、複合関係詞、SV(知覚動詞)O+過去分詞の使い方を理解する。<br>・仮定法過去完了の基本的用法を理解する | ・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 | ・SVOO(O=if 節)、複合関係詞、SV(知覚動詞)O+過去分詞の使い方を理解する。<br>・仮定法過去完了の基本的用法を理解し、正しく使うことができる。 | ・定期テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |